

令和5年度 箱根町町政モニター第5回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 目的

こども基本法の制定やそれに基づくこども家庭庁の発足などの動きがある中、こどもの意見を自治体の運営に反映させていくことが課題になっています。

※ここでは18歳（高校等の卒業年度）までを「こども」と呼びます。

今回は町政運営における「こども（若年層）」の意見聴取とその反映についてお伺いします。

○ 回答期間

令和6年3月28日（木）から4月4日（木）まで

○ 対象者

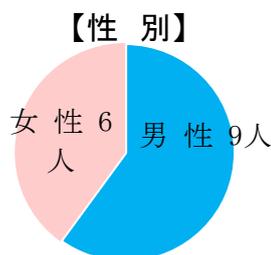
箱根町町政モニター 70人

○ 回答者数（回答率）

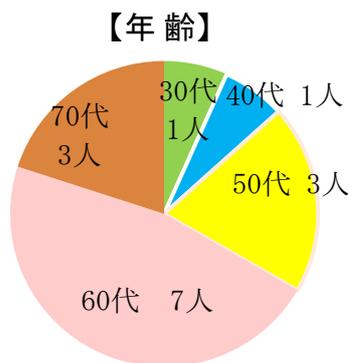
15人（約21.4%）

○ 回答者の基本属性

性別	回答者数	割合
男性	9	60.0%
女性	6	40.0%
合計	15	100.0%



年齢	回答者数	割合
20代	0	0.0%
30代	1	6.7%
40代	1	6.7%
50代	3	20.0%
60代	7	46.7%
70代	3	20.0%
合計	15	100.0%



2 調査結果の総論

【子供への質問】

子供からの意見聴取については多くの人が必要と考えていることが分かりました。

質問内容については身近な内容に置き換えることという回答が一番多く、質問の分かりやすさ、子どもの答えやすさが重要であると感じました。

【モニター（小学生から18歳まで）の方の町政への関心】

町政モニターへご協力いただいている方でも、こども時代に町政等に興味を持っていた方は少なく、意識したのは高校生のころということでした。このことから、現代の「こども」世代も例外ではなく、幅広い視点から町政を行うためにはこども世代からの意見も必要になります。そのため「こども」世代の方に町政に興味を持ってもらえるような工夫を考えていく必要があると感じました。

【子供世代による町政参加の課題】

若い世代を巻き込んだ施策（審議の際の委員に加える）などとした回答が多かったです。

町自体の意識改革の必要性を求めている人が多いと感じます。

また、その他の意見では以下の2点がありました。

- ・こどもの意見は重要だが、大人と近いレベルで有効なものが出てくるのは高校生以上と考えられること。
- ・若いうちは町政に興味をもつことがなかった人が多かったというなかで、町自身にも若い世代の意見聴取に対し意識改革を求めていること。

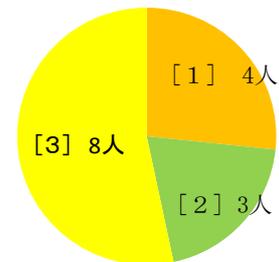
[1] 子供からの意見聴取についてどう考えますか？

No.	選択項目	回答数	割合
1	必要	11	73.3%
2	不要	4	26.7%
合 計		15	100.0%



[2] 令和6年度から子供からの意見聴取の一環として町政モニターの年齢枠を若年層へ拡大します。大人の方とは違う枠組みでアンケートを行います。どんな質問方法が適切と考えますか

No.	選択項目	回答数	割合
1	ひらがなで大人と同じ質問をする	4	26.7%
2	こどもに関する部分を抜粋した質問をする	3	20.0%
3	身近な内容に完全に置き換えて質問をする	8	53.3%
合 計		15	100.0%



[3] 小学生の年代から18歳までという時期、あなたは国の政治や町政、身近な家計までを含めどのように考えていましたか。 [自由記述]

**[興味があった] 4件**

- ・ 高校生の頃には学生運動が盛んだったので、その方面の情報については興味があった
- ・ それなりに興味を持って考えていた
- ・ 友人と政治のあり方などについて議論していた
- ・ 小中学生時代は、まったく興味がなかった。高校生から、新聞を読むようになって関心が出てきた

**[興味がなかった] 10件**

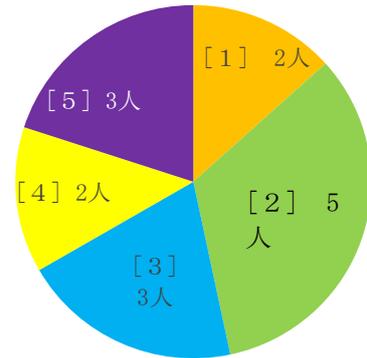
- ・ 興味はなかったが、市政に対して関係ないと考えていた。また、一市民の声は届くことはないとも感じていた。
- ・ 興味がなかった 7件
- ・ よくわかっていない 2件

**[その他] 1件**

- ・ 判断基準にする経験が少ない子どもに意見を聞く意味がない。

[4] こどもの意見聴収は課題が多く、こどもへ向けたアンケートも、まずは町政（政治）に触れるための機会になってほしいという思いがあります。若い世代の町政参加にはどのような課題があると感じていますか

No.	選択項目	回答数	割合
1	もっと勉強が必要	2	13.3%
2	若い世代を巻き込んだ施策が必要	5	33.3%
3	普段から町に色々な意見を言える立場	3	20.0%
4	大人の町政参加の活性化が必要	2	13.3%
5	その他	3	20.0%
合 計		15	100.0%



#### 「5 その他」を選択した方の意見

- 学校の授業などで町議会への聴講、実際にこども議員みたいな枠を作る。
- 子供と言っても小学生ではなく、まずは高校生（15歳以上）のアンケートから始める。
- 早くから町政に触れさせるためのトレーニングという意味でのアンケート調査なら意味があると思う。